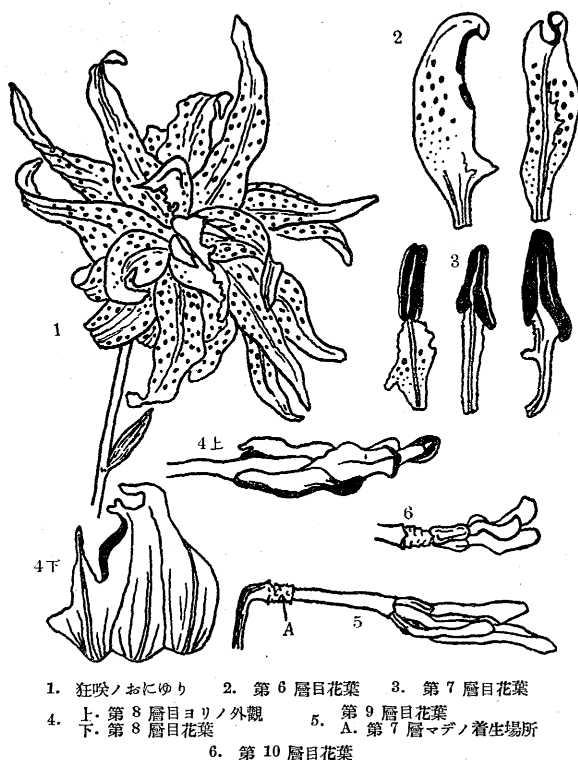


1. 狂咲ノおにゆり　2. 第6層目花葉　3. 第7層目花葉
4. 上. 第8層目ヨリノ外觀　下. 第8層目花葉　5. 第9層目花葉　A. 第7層マデノ着生場所
6. 第10層目花葉

紹介スル狂咲ノおにゆりハサウ云フ點カラ考ヘテ面白イモノデハナカラウカ。該花ハ本校々庭ニ栽培シタ4株ノ中ノ1株ニ生ズルモノデ該株ノ花ハ何レモ形ニ於テ多少ノ相違ハアルガ殆ドソノ變化ニ於テハ相同ジデ全花葉ノ數ハ何レモ30枚ヲ有シ1層ハ3枚宛デ10層ヨリ成リ其ノウチ外側ノ5層ハ形色共ニ花蓋狀デアルガ第6層目ノモノハ葯ヲ有スル花蓋樣ノモノデ第7層目ハ第6層目ノモノト雄蕋トノ中間性ノモノガ多イ。第8層目ノモノハ3枚互ニ癒着シ第9第10層ト共ニ其ノ着生場所ヲ異ニシテヰルガヤハリ葯ノ痕跡ヲ有スルモノアリ、第9第10層ハ癒着シナイデ離生シ第9層目ノ3枚ニハ葯ハ認メラレヌ。第10層ハ雌蕋ノ變化シタモノデ小サイ子房ノモノヲ附ケテヰル。

思フニ該花ハ花冠ノ重複トナルアラユル場合方法ヲ現出シタモノデ多數ノモノヲ調ベテ見ルト花葉ノ畸形ハ花ノ中心ノモノホド著シク現ハレルコトモ分ル。尙ホ花葉ノ配列ハ普通ノモノニ同ジデアル。

花冠ノ重複トナル場合ニ就イテハ三好博士著最新植物學中卷423頁ヲ參照セラレタイ。

(富山縣女子師範學校　妹尾義一)

○逗子ノ萩、籠坂ノ萩

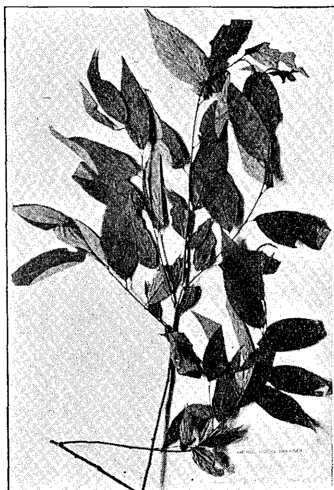
逗子ノ山ニきはぎトモまるばはぎトモツカナイ萩ガアル。ソレハ丁度きはぎトまるばはぎトノ間ノヤウナ形ヲシタ萩デアル。一體逗子ヤ鎌倉ノ山ニハきはぎトまるばはぎトハ澤山アルガ外ノ萩ハ絕エテ見ナイノデアル。ソシテソノきはぎトまるばはぎトガ到ル處ニ混生シテヰル。サウイフきはぎトまるばはぎトノ混生シテヰルヤウナ藪ノ中ニコノ萩ガ見出サレル。デアルカラ牧野先生ハコノ萩ヲきはぎトまるばはぎトノ間種デアラウトイハレタコトガアツタ。コノ萩ハ逗子ノ山ノ一部ニヤヤ廣イ範圍ニ亙ツテ點生シテヰルガ八九月ノ

交紅イシヲラシイ花ガ咲イテヰル時ハ人ノ目ニツクノデアル。

富士ノ籠坂ニハやまはぎトきはぎトガ混生シテヰル。ソノ中ニやまはぎトモきはぎトモツカナイ萩ガアル。九月ノハジメコヽニ來テ見ルトやまはぎノ花ガ綺麗ニ咲キ亂レテヰルガソレニ混ツテコノ萩モ咲イテヰル。花ノ色ハ紅デアル。逗子ノ萩ガきはぎトまるばはぎトノ間種ナラバコノ萩ハマタきはぎトやまはぎトノ雜種デアラウ。三ツ峠ノ麓デ見タノモタシカコノ萩デアツタト思フ。　（籾山泰一）

○よこぐらのき

神奈川縣植物目錄ニハ丹澤山ニよこぐらのき(*Berchemia berchemiaefolia* KOIDZ.)ノ產スル事ガ記シテアルガ、最近ハ誰モ採集シタ者ガ無イラシイノデ、此植物ヲ採リニ昨年五月東京科學博物館ノ今關、奥山氏等ト丹澤山東側ノ本谷川及ビ中津川ノ兩溪谷ヲ探リニ出掛ケタ。本谷川ノ谿ニハ路ラシイモノモ無ク兩岸ノ岩壁ニハはるゆきのしたヤひとつばしようまガヘバリ着イテ如何ニモ山深イ感ジノスル所デアル。幸ナ事ニ目的ノよこぐらのきハ兩谿ニ見ツケル事ガ出來タガ、共ニ生育地ハ溪流ニ臨ンダ岸上デ、老木ハ伐ラレテシマウラシク皆小木ノミデアツタ。



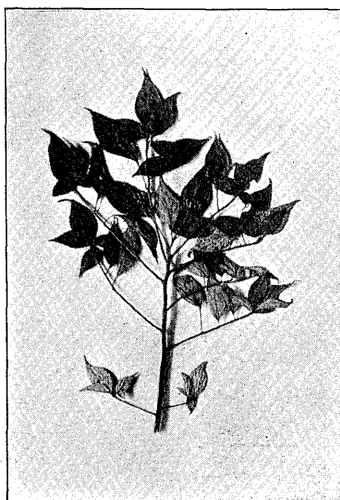
よこぐらのき

尙よこぐらのきハ武藏奥多摩日原ノ溪谷ニモ產シ、小生ハ昭和八年六月ニ採集シテヰルガ、此處ハ恐ラク本種ノ分布ノ北限ヲナスモノデアラウ。

（檜山庫三）

○こばのはないかだ

こばのはないかだ(*Helwingia japonica* var. *parvifolia* MAK.)ハ本州西南地方ニ生ズル植物デアルガ、甲州身延山及ビ富士山麓西湖附近ニモ產スル事ハ猪熊泰三氏ニヨリ既ニ報ジラレテヰルトコロデアル。而シテ小生モ亦之ヲ昭和八年八月岳麓吉田町近クノ城山デ採集スル事ガ出來タ。（檜山庫三）



こばのはないかだ

○ひもかづら

本州デハ通例中部以北ノ高山上ニ產スルガ如クニ思ハレテヰルひもかづら(*Selaginella shakotanensis* MIYABE & KUDO)デハアルガ、稀ニ上野北甘樂郡ノ神津牧場（海拔約 1300 米）附近ノ如キ低山ニマ